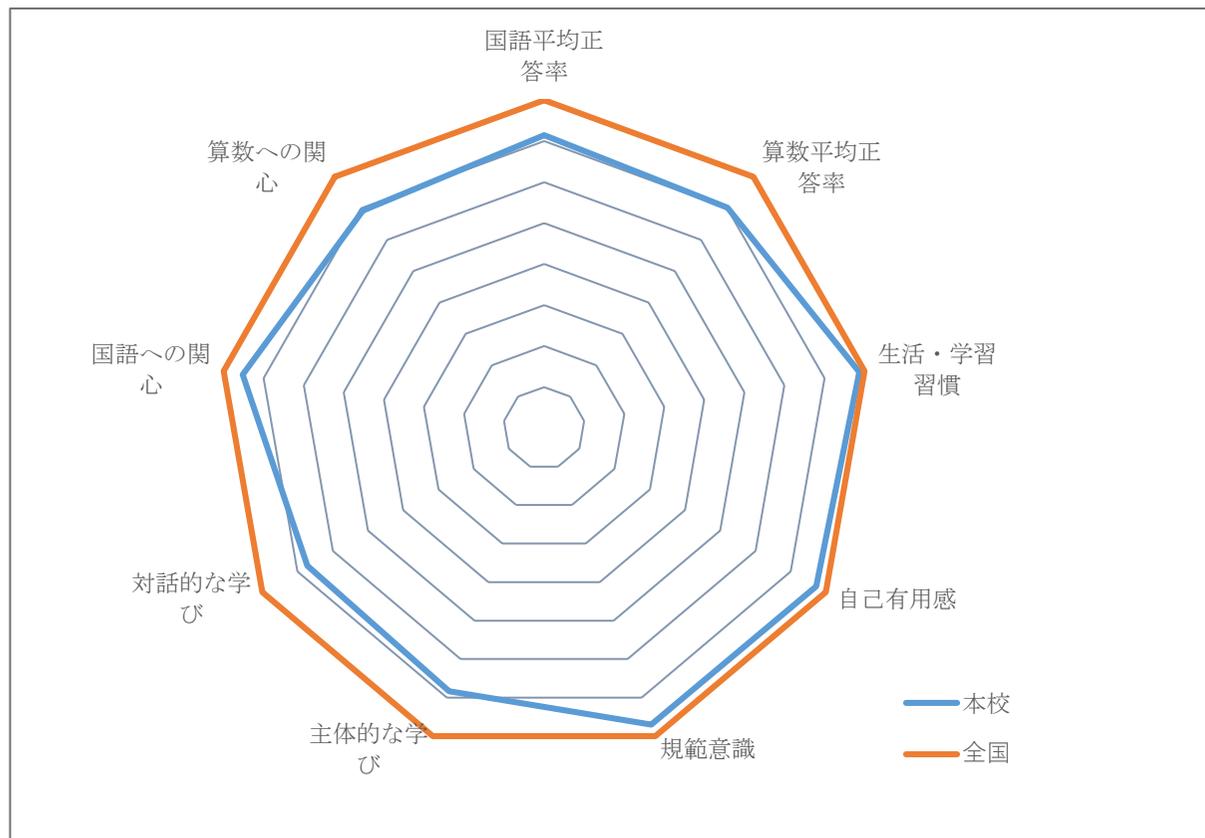


## 令和4年度全国学力・学習状況調査結果における課題分析表

●各領域における全国平均正答率及び、全国の肯定的解答合計値を基準（100）とした場合の本校の様子



	本校	全国
国語平均正答率	91.5	100
算数平均正答率	90.2	100
生活・学習習慣	98.7	100
自己有用感	97.3	100
規範意識	97.0	100
主体的な学び	88.4	100
対話的な学び	87.2	100
国語への関心	95.2	100
算数への関心	89.3	100

### 〈授業改善のポイント〉

#### 〈国語〉

○発問に対する自分の考えをもてるように、ポイントとなるところに線を引いて考えさせたり、友達と考えを共有する場を設定したりする。

○説明する力を養うために、答えの根拠となる部分を文中から探させ、理由を説明させるようにする。

#### 〈算数〉

○問題解決型の授業において、話し合いや考えをまとめる活動を多く取り入れ、児童が主体的に理解を深めながら、説明できるようにする。

### 〈チャートの特徴〉

#### 〈主体的な学び〉

○全国平均の約88%となっており、課題が見られる。児童の質問や感想から「知りたい」という気持ちを広げ、意欲的に課題解決を行えるようにする必要がある。

#### 〈対話的な学び〉

○全国平均の約87%となっている。授業の中で意見交換の場を設け、話し合いの場を増やす。また、活発な話し合いを引き出す発問や呼びかけなど、話し合い活動を活性化させる工夫が必要である。

### 〈家庭・地域への働きかけ〉

○開かれた学校を目指し、ホームページの更新を充実させ、家庭・地域へ発信する機会を増やし、本校のカリキュラムマネジメントに理解と協力を求めていく。

○家庭学習の習慣の定着や規則正しい生活の協力を家庭に呼びかける。